



外国語科(英語)

嘉本 絵実

東京大学
教育学部 総合教育科学比較教育社会学コース

英語を学ぶと、世界が広がります。分からない用語や調べたいことがあったとき、みなさんはGoogleをはじめとする検索サイトを利用することが多いでしょう。同じようなことを調べるにしても、日本語で検索するのと英語で検索するのでは、表示される情報量が何十倍から何百倍も異なることを知っていますか。英語ができるようになるには、文法や語彙の知識といった基礎的なインプットが不可欠です。同時に、習ったことを実際に使ってみるというアウトプットを何度も繰り返すことで、だんだんと身に付きます。

みなさんが漠然と思い描いている、グローバル化が進んでいる世の中だから、シンガポールに住んでいるから、英語を知っておくと役に立つだろうという希望や期待は、本校英語科の授業を通じて、英語を使って新たなことを知る面白さや英語を用いて他人とコミュニケーションを取る楽しさを実感することで、やがて自信へと変わるでしょう。



国語科

今井 省吾

京都大学
文学部 人文学科国語学国文学専修

我々の社会で生きていく上では、どのような生き方であれ、他者とのコミュニケーションが不可欠です。もちろん表情や仕草など、世の中には多くのコミュニケーションが存在しますが、たいていの場合はそこに言語活動を伴います。「国語」という教科では、様々なテキストを通じて「言葉」を学び、「言葉」を用いて他者と対話する力を養います。また、他者とのコミュニケーションでは「相手の気持ちを察する力」も必要となります。この「想像力」を養うには、自分自身が様々な経験をして心揺さぶられる機会を持つことが一番ですが、それを補填し得るのが「読書体験」です。読書による疑似体験が、自らとは異なる生を歩む他者に対する「想像力(=優しさ)」を育みます。「国語」の授業を通して、皆さんが他者との豊かな関係を築くサポートをしていきます。



数学科

青木 信人

早稲田大学大学院
教育学研究科数学教育専攻

数学で用いられている様々な記号は日常会話であり使うことのない特殊言語ですが、その働きを考えると、言葉と言葉の橋渡しをする「論理」を支える準言語と位置づけることができます。いくら語彙を増やし表現方法を知ったとしても、そこに確かな論理がなければ、相手を納得させたり正しい結論に近づいたりすることはできないでしょう。「新しい概念を理解する」、「解を求める」、「式を証明する」といった数学の一連の学びは、論理的思考力を鍛える上で十分に有効な機会となります。

数学を通して養われる、定義や根拠を軸とし、論理を丁寧に組み立てて結論を出すという思考態度は、変化が激しく情報があふれるように飛び交う現代において、文字通り「生きる力」に直結するはずで、数学の有用性や、数と図形の持つ美しさを感じながら、一緒に論理的思考力を身につけましょう。



地歴公民科

米澤 理奈

大阪大学大学院
文学研究科 博士前期課程

「パパ、だから歴史が何の役に立つのか説明してよ」、とはフランスの歴史学者マルク・ブロックがその著書『歴史のための弁明』の冒頭で提示した問いです。彼の娘によって提起されたこの問いは皆さんの多くが共有しているものでしょう。一見もっともらしい問いではありますが、今日みられる数々の論争に歴史はしばしば関わり、時には中心テーマとして立ち現われます。歴史が我々に語りかけ、何かしらの教訓や示唆をもたらす—これは歴史について多くの人間が持つイメージで、そういった側面があるのも事実です。しかし我々が現在の社会に対する関心から歴史に問いかけた時にこそ、真に歴史は我々に示唆を与えるのです。歴史は過去の事実や年号を覚えることではなく、我々が持つ関心から過去に何をどう問うのかという技術です。授業では現在の社会における争点を示すことでこの技術を養い、グローバルな社会で自律的に思考する主体の形成を目指します。



理科

門馬 哲矢

東京理科大学
理学部 化学科

あなたは今までに「なぜ?」「どうして?」といった疑問や「神秘的だな」といった感動を覚えたことはありませんか。人類は皆平等に様々な「理(ことわり)」を探究したいという気持ちを持っている生物です。理科という学問はすべてその気持ちからスタートしています。ところで、この地球上には100種余りの元素しかありません。言い換えればそれらの元素ですべての物質や現象が形成されていることとなります。あなたが疑問を抱いたその現象や事象の正体はすべてこれらの元素のいずれかによるものです。しかし、それらの元素を集めただけでは疑問に対する正解には辿り着きません。元素をどの割合でどの条件でどの形で組み合わせなければならないのかを考える必要があります。正解への道のりは果てしなく感じるかもしれませんが、幅広い確かな知識と的確な思考力、そして「理」への探究心の3つがあれば、必ずその疑問への正解に辿り着くことでしょう。理科の授業を通じて1つでも多くの「理」を知るとともに、様々な現象の可能性を考えてみてください。